

令和4年度の重点課題

・男女ともに、「握力」の記録が低く、県平均値を下回っている。

・「50m走」や「ボール投げ」の記録は高くなく、個人差も大きい。

上記の課題を受けて具体的に  
取り組んだ事項

- ・基本動作である「走る」「投げる」動きについて、正しいフォームや練習の仕方を知識として授業の中でしっかりと教える。
- ・握力を高める動きを体育学習の中に計画的に取り入れ、年間を通して取り組ませる。
- ・児童自らが、自身の記録の向上を確認できたり、児童相互に教え合えたりする場を設ける。
- ・体育委員会主催で、スポーツ大会を企画し、児童に目標をもって練習させる場を設けさせる。

令和5年度新体カテストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.01	16.81	33.86	37.47	42.08	9.50	150.78	21.66	50.48	第5学年	14.83	14.25	38.67	35.91	35.75	9.62	143.47	12.81	51.44

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体カテストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.01	16.81	33.86	37.47	42.08	9.50	150.78	21.66	50.48	第5学年	14.83	14.25	38.67	35.91	35.75	9.62	143.47	12.81	51.44

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	67.12	17.81	10.96	4.11	第5学年	54.55	36.36	7.58	1.52

学校独自の意識調査

・昨年度の結果と比較すると、「嫌い」を選んだ児童は、女子で5.45%から1.52%に減り、肯定的な返答が女子では89%から91%に向上している。しかし、男子で肯定的な返答をした児童が、92%から85%に減っている。独自の意識調査でもほぼ同様の結果であるが、実施する活動により変化している。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・「走る」「投げる」の正しいフォームを理解させ、ICTを利用して自分たちのフォームを確認しながら練習をさせる。
- ・屋内外でサーキット運動を設定し、毎時間の学習前に実施させることで、様々な動きを身に付けさせる。
- ・体育学習の中にゲーム的要素を取り入れることで、楽しみながら運動する経験を増やす。
- ・握力を高める動き(グーパー運動、タオルにぎにぎ等)を体育学習の中に計画的に取り入れる。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・引き続き、体育委員会が主催のドッジボール大会を行い、休憩時間にも自主的に友達と練習をするような雰囲気づくりをする。
- ・全校で「長なわとび大会」を行い、体育委員会を中心に大会をPRさせ、休憩時間にクラスで誘い合って練習に取り組ませることを通して、進んで外遊びをする児童を育てる。
- ・教職員に向けた体育通信の発行や実技研修を行い、体育授業力向上に向けた取組を実施する。

重点課題

- ・昨年度に引き続き、「握力」の記録が低く、県の平均値を下回っている。
- ・意識調査の結果で、男子において「運動が好き」と肯定的な返答をした児童が減っている。また、外遊びを好む児童とそうでない児童の二極化が見られる。それが一因なのか、どの種目も低い数値となっている。

令和6年度の  
重点目標値

- ・「握力」を含む4種目以上の記録で、県平均値を上回ることを目指す。
- ・意識調査で、男女ともに95%以上が肯定的な回答になることを目指す。